「学校ソーシャルスキルフラッシュカード」 ①授業編

15 種（Ｎｏ.1 ～Ｎｏ.15） 一覧表 （カード表面）／（カード裏面）

●No.1
SS_Ａ①-1　鉛筆の持ち方　／　SS_Ａ①-2 無地
SS_Ａ①-3　中指親指　／　SS_Ａ①-4 しっかりはさもう
SS_Ａ①-5　人差し指で　／　SS_Ａ①-6 ふたをする
SS_Ａ①-7　ほらすぐできた　／　SS_Ａ①-8 天使の輪

●No.2
SS_Ａ②-1　筆記用具の中身　／　SS_Ａ②-2　無地
SS_Ａ②-3　けずった鉛筆　／　SS_Ａ②-4　赤鉛筆
SS_Ａ②-5　消しゴム定規も　／　SS_Ａ②-6　忘れずに
SS_Ａ②-7　筆箱にいつものメンバー　／SS_Ａ②-8　そろってる

●No.3
SS_Ａ③-1　きれいな字の書き方　／　SS_Ａ③-2　無地
SS_Ａ③-3　鉛筆けずって　／　SS_Ａ③-4　正しく持とう
SS_Ａ③-5　小指をすって　／　SS_Ａ③-6　書いていく
SS_Ａ③-7　一画一画　／　SS_Ａ③-8　ていねいに

●No.4
SS_Ａ④-1　消しゴムの使い方　／SS_Ａ④-2　無地
SS_Ａ④-3　片手をそえて　／　SS_Ａ④-4　ゴシゴシゴシ
SS_Ａ④-5　消したかすは　／　SS_Ａ④-6　手のひらへ
SS_Ａ④-7　ゆかに落とさず　／　SS_Ａ④-8　ゴミ箱へ

●No.5
SS_Ａ⑤-1　きれいなノートのとり方　／　SS_Ａ⑤-2　無地
SS_Ａ⑤-3　いつもはさもう　／　SS_Ａ⑤-4　したじきを
SS_Ａ⑤-5　一マス一文字　／　SS_Ａ⑤-6　ゆったり書こう
SS_Ａ⑤-7　線は定規で　／　SS_Ａ⑤-8　まっすぐに

●No.6
SS_Ａ⑥-1　話の聞き方　／　SS_Ａ⑥-2　無地
SS_Ａ⑥-3　ほかの人話しているとき　／　SS_Ａ⑥-4　口チャック
SS_Ａ⑥-5　持ったもの机において　／　SS_Ａ⑥-6　手はおひざ
SS_Ａ⑥-7　質問があっても聞こう　／　SS_Ａ⑥-8　最後まで

●No.7
SS_Ａ⑦-1　テストのとき方　／　SS_Ａ⑦-2　無地
SS_Ａ⑦-3　きれいな文字で／SS_Ａ⑦-4　名前書く
SS_Ａ⑦-5　問題読んで／SS_Ａ⑦-6　ときはじめ
SS_Ａ⑦-7　全部といたら／SS_Ａ⑦-8　見直しするよ

●No.8
SS_Ａ⑧-1　発言のしかた　／　SS_Ａ⑧-2　無地
SS_Ａ⑧-3　言いたいときは　／　SS_Ａ⑧-4　手をあげて
SS_Ａ⑧-5　当てられたとき　／　SS_Ａ⑧-6　「はい！」と言う
SS_Ａ⑧-7　遠くの人に　／　SS_Ａ⑧-8　とどく声

●No.9
SS_Ａ⑨-1　話し合いのしかた　／　SS_Ａ⑨-2　無地
SS_Ａ⑨-3　意見を言うとき　／　SS_Ａ⑨-4　手をあげて
SS_Ａ⑨-5　意見を聞くとき／　SS_Ａ⑨-6　相手見て
SS_Ａ⑨-7　ステキな発言　／　SS_Ａ⑨-8　マネしよう

●No.10
SS_Ａ⑩-1　声の大きさ　／　SS_Ａ⑩-2　無地
SS_Ａ⑩-3　教室のはしまで聞こえる　／　SS_Ａ⑩-4　３の声
SS_Ａ⑩-5　班活動みんなに聞こえる　／　SS_Ａ⑩-6　２の声
SS_Ａ⑩-7　ひそひそととなりに聞こえる　／　SS_Ａ⑩-8　１の声

●No.11
SS_Ａ⑪-1　いすにすわるときのしせい　／　SS_Ａ⑪-2　無地
SS_Ａ⑪-3　せすじはピン　／　SS_Ａ⑪-4　足はピタ
SS_Ａ⑪-5　おなかはグーで　／　SS_Ａ⑪-6　あけましょう
SS_Ａ⑪-7　ピンピタグーで　／　SS_Ａ⑪-8　すわりましょう

●No.12
SS_Ａ⑫-1　自習のしかた　／　SS_Ａ⑫-2　無地
SS_Ａ⑫-3　来た先生の　／　SS_Ａ⑫-4　指示聞いて
SS_Ａ⑫-5　やり終わっても　／　SS_Ａ⑫-6　だまっていよう
SS_Ａ⑫-7　やってる人の　／　SS_Ａ⑫-8　じゃましない

●No.13
SS_Ａ⑬-1　集中のしかた　／　SS_Ａ⑬-2　無地
SS_Ａ⑬-3　授業中かってに席を　／　SS_Ａ⑬-4　立ちません
SS_Ａ⑬-5　集中力切れたら　／　SS_Ａ⑬-6　１回伸びをして
SS_Ａ⑬-7　また勉強に　／　SS_Ａ⑬-8　取り組もう

●No.14
SS_Ａ⑭-1　トイレに行きたくなったとき　／　SS_Ａ⑭-2　無地
SS_Ａ⑭-3　授業中トイレに行きたく　／　SS_Ａ⑭-4　なったらね
SS_Ａ⑭-5　先生にそっと　／　SS_Ａ⑭-6　聞いてみよう
SS_Ａ⑭-7　トイレに行っても　／　SS_Ａ⑭-8　いいですか

●No.15
SS_Ａ⑮-1　休み時間の授業じゅんび　／　SS_Ａ⑮-2　無地
SS_Ａ⑮-3　遊ぶ前次の時間の　／　SS_Ａ⑮-4　用意して
SS_Ａ⑮-5　授業中行かないように　／　SS_Ａ⑮-6　トイレ行こう
SS_Ａ⑮-7　チャイムが鳴ったら　／　SS_Ａ⑮-8　席に着く

※各項目（No.1～No.15）の表紙（1枚目）の裏面は無地です。
※全カード裏面には、表面と区別しやすいように青い枠を入れています。
※実際にご使用の際は、カードを後ろから前に出して送っていきます。各No.の表面右上のカード番号（末尾番号）を「-1」「-7」「-5」「-3」の順に並び替えてからご使用されると便利です。

学校ソーシャルスキルフラッシュカード ①授業編　ユースウェア
企画：TOSS 特別支援教育研究会　イラスト：信吉　箱デザイン：信吉
制作・著作・発行：東京教育技術研究所　〒142-0064　東京都品川区旗の台 2-4-12 TOSS ビル
TEL. 0120(00)6564　FAX. 0120(88)2384
印刷・製本：日商印刷株式会社
TOSS オリジナル教材
http://www.tiotoss.jp
©2017 The Tokyo Institute of TOSS. Printed in Japan　2017.03N

1分 「1分間フラッシュカード®」シリーズ　毎日1分間でマナーとルールが身につく！

東京教育技術研究所
教師用ユースウェア

学校ソーシャルスキル®
フラッシュカード

企画：TOSS特別支援教育研究会

「学校ソーシャルスキルフラッシュカード」①授業編の特長

（1）小学校での基本的な学習規律を楽しく覚えられる。
（2）学習規律を定着させることで、学習能力がアップする。
（3）授業開始前や朝の会などの短い時間を利用してできる。

「学校ソーシャルスキルフラッシュカード」とは

「学校ソーシャルスキルフラッシュカード」は、学校生活に必要なソーシャルスキル（社会生活技能）を、毎日1分間程度の短時間で効果的にトレーニングすることを目的に開発されました。
カードに記載されたリズム感がある簡潔な言葉とイラストで、子供たちは学校生活で大切な行動規範を楽しく覚えることができ、そのルールを意識の中に残すことができます。そして、いざその場面に出合った時、子供たちはフラッシュカードから学んだ行動が自然ととれるようになります。
社会規範が理解しにくい発達障害を持つ子供をはじめ、就学前や小学校低学年の子供たちと関わる教師、保育士、保護者の方にお薦めしたい教材です。

●本教材の内容物

（1）フラッシュカード（15 種／計 60 枚）

※カードの周囲に青枠があるものが裏面になります。
※カードの裏面と表面の各右上には通し番号を、左上には反対側の言葉が記載されています。
※15種のソーシャルスキルの言葉は巻末の表をご覧ください。

（2）ユースウェア（使い方）・本紙

フラッシュカードの特長

学校生活で必要なスキルを、表紙1枚、表裏3枚の計4枚で構成しています。

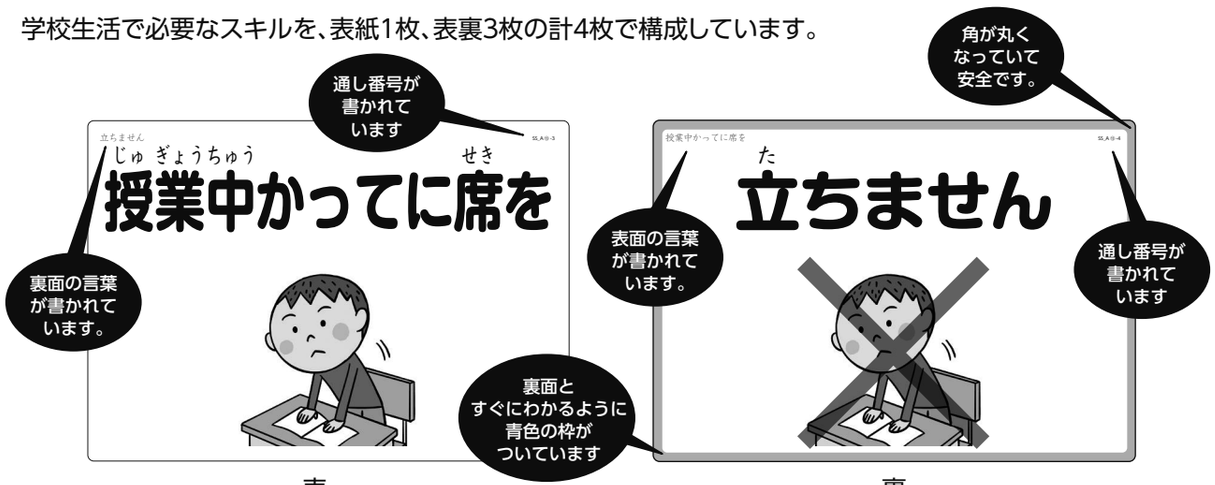


表　　裏

ご注意：本教材は、カードによるトレーニングおよび、学校生活支援を目的とした教材です。効果には個人差があります。

カードの基本的な使い方

授業開始1分前、朝の会・帰りの会の始めや隙間時間などに行うことがおすすめです。
15種類の中から子供に定着させたい内容をいくつか行う際は、5分以内を目安にご使用ください。

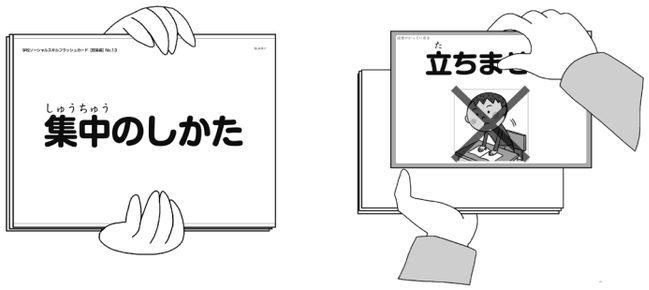
(1) 持ち方

右手でめくる場合は、左手でカードを下から支えます。親指以外の指の上に置きます。親指で後ろから支えるように持ちます。

(2) めくり方

一番後ろのカードを前に出して送っていき、子供に見せます。

フラッシュカードの持ち方



子供から見たとき　　先生から見たとき

(3) 使い方

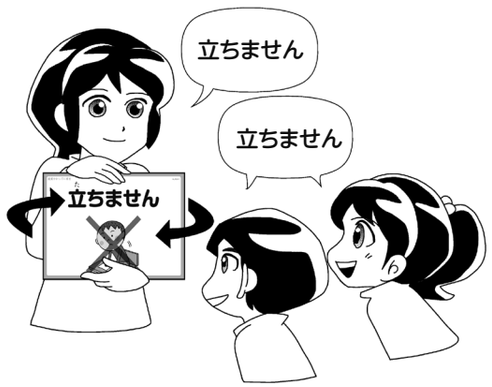
①カードを、後ろから前に出すめくり順で並べ替える。

※使用する各No.の表面右上のカード番号(末尾番号)を「1」「7」「5」「3」の順に並び替えてください。

②下から支えている左手の親指で、一番後ろのカードを押し上げます。右手は親指と人差し指ですばやくカードをつまみ、前に送ります。

③教師が出したカードの表面の言葉を発音し、子供に復唱させます。

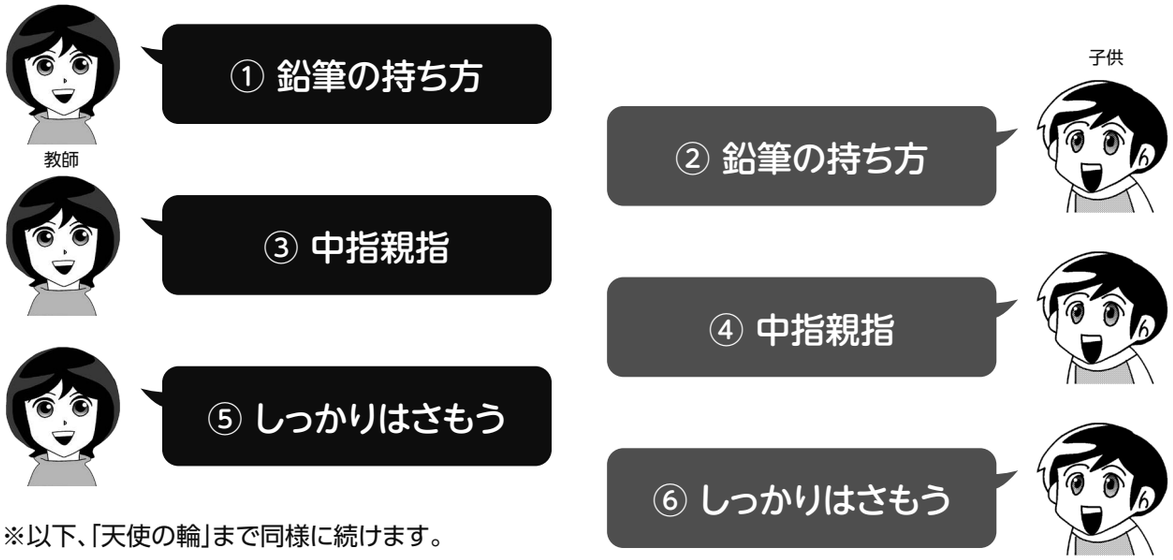
④続いて、カードを裏面に返して、教師が裏面の言葉を発音し、子供に復唱させます。



※以下同様に、カード順に後ろから前に送り、子供に復唱させます。

読ませ方例（No.1 鉛筆の持ち方）

カードの表面・裏面を教師と子供が 1 回ずつ読む



※以下、「天使の輪」まで同様に続けます。

<応用的な読ませ方>
その他、「教師が表紙と表面を読み、子供が裏面を読む」「教師が子供にカードだけ見せて子供に読ませる」等、子供の状況に応じてお使いください。

「学校ソーシャルスキルフラッシュカード」独自の表現

学校では子供たちに教えるときに、独特な表現が使われることがあります。現状に合わせて、ご指導ください。

(1) 天使の輪　(No.1　SS_A①-8)
鉛筆の正しい持ち方を教えるための言葉。人差し指と親指で鉛筆を支える様子をいいます。

(2) ピンピタグー　(No.11　SS_A⑪-7)
座るときの姿勢指導で「腰骨を立てること」を教えるときに使う言葉。背中を「ピン」と伸ばし、両足の裏を「ピタ」と床につけ、おなかと机の間に「グー」をひとつ入れる。(机によりかからない)

1分 1分間フラッシュカード®
詳しくは▶ http://flush.tiotoss.jp

1分間フラッシュカードは、授業開始直後の1分間に実施することにより、どの子もすぐに集中し、クラスと授業が安定する新教材です。全国1万人の教師が参加する教育団体 TOSS (トス) が提唱する、特別支援を要する子も熱中する新しい教育文化です。